

第 292 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 平成 26 年 7 月 24 日（木） 13 時 30 分～16 時 10 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 基準諮問会議からの報告
- (2) IFRS のエンドースメントに関する公開草案【公表議決】
- (3) ASAF 対応専門委員会における検討状況
- (4) FASB 公開草案「財務報告のための概念フレームワーク - 第 8 章：財務諸表注記」へのコメント対応
- (5) 専門委員会の解散について

（報告事項）

- (1) のれんに関する欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）及びイタリア会計基準設定主体（OIC）との共同リサーチ・ペーパー
- (2) IASB 公開草案「開示に関する取組み（IAS 第 1 号の修正案）」へのコメント

IV. 議事概要

（審議事項）

(1) 基準諮問会議からの報告

野崎基準諮問会議議長より、第 21 回基準諮問会議の議事概要について説明がなされ、審議が行われた。

具体的には、新規テーマの提言を行うこととなったものはない旨、引き続き基準諮問会議で検討することとなったテーマの内容、基準諮問会議で保留することとなったテーマの内容等についての説明がなされ、審議が行われた。

(2) IFRS のエンドースメントに関する公開草案【公表議決】

小賀坂副委員長及び紙谷ディレクターより、「修正国際基準（国際会計基準と企業会計基準委員会による修正会計基準によって構成される会計基準）（案）」に関する公開草案について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

(3) ASAF 対応専門委員会における検討状況

小賀坂副委員長、関口常勤委員、紙谷ディレクター及び板橋ディレクターより、ASAF 対応専門委員会における検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

本委員会では、2014 年 6 月及び 7 月の国際会計基準審議会（IASB）のボード会議で議論された概念フレームワークの「純損益及び OCI」、7 月の IASB の

ボード会議で審議が予定されている「測定」及び6月のIASBのボード会議で議論された「負債と資本の区分」について審議が行われた。

(4) FASB 公開草案「財務報告のための概念フレームワーク - 第8章：財務諸表注記」へのコメント対応

関口常勤委員より、FASB 公開草案「財務報告のための概念フレームワーク - 第8章：財務諸表注記」（以下、「本公開草案」という。）へのコメント対応について説明がなされ、審議が行われた。

FASB は、2009年7月以降、財務諸表の開示をより効果的で、調整がとれ、重複が少ないものとするために包括的なフレームワークを構築するという目的において、財務諸表の開示に関するプロジェクトを行っており、2012年7月にコメント募集「開示フレームワーク」を公表している。その後、FASB は、コメント募集文書に寄せられた回答を踏まえ、審議を行っており、2014年3月に本公開草案の公表に至っている。

本委員会では、本公開草案に対するコメントの方向性（案）について、第15回 ASAF 対応専門委員会（7月17日開催）における検討状況も踏まえて審議が行われた。今後、本委員会で示された意見を踏まえつつ、コメントレターの提出に向けた審議を続けていくことが予定されている。

(5) 専門委員会の解散について

新井副委員長より、専門委員会の解散について説明がなされ、承認された。

(報告事項)

(1) のれんに関する欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）及びイタリア会計基準設定主体（OIC）との共同リサーチ・ペーパー

関口常勤委員より、のれんに関する欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）及びイタリア会計基準設定主体（OIC）との共同リサーチ・ペーパーについて報告がなされた。

(2) IASB 公開草案「開示に関する取組み（IAS 第1号の修正案）」へのコメント

資料の配布をもって報告するものとされた。

以 上